

1. 略歴

1984年3月	東京大学文学部英語英文学専修課程卒業
1984年4月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻修士課程入学
1987年3月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻修士課程修了
1987年4月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻博士課程進学
1989年3月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻博士課程退学
1989年4月	実践女子大学文学部英文学科専任講師
1992年4月	東京大学教養学部助教授
1993年4月	東京大学大学院総合文化研究科専攻助教授
2004年4月	東京大学人文社会系研究科助教授 併任
2004年9月	東京大学人文社会系研究科助教授
2007年4月	東京大学人文社会系研究科准教授
2012年4月	東京大学人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

言語学、意味論、認知文法

b 研究課題

文法の意味的基盤

認知文法の観点からさまざまな文法現象の意味的な基盤を明らかにすることを目標として研究を進めてきた。これまで分析の対象にしてきた主な現象は、日英語の使役構文、項構造の交替、文法関係などである。近年は認知言語学の分野でその遍在性、重要性が新たに注目されている換喩 (metonymy) の本質を解明し、それに基づいて従来別々に扱われてきた多くの文法現象を統一的に把握し直すことを目指している。

c 概要と自己評価

2010年から言語に関心をもつ哲学者と議論を重ね、文法の意味的基盤について考察を深めることができた。その成果を昨年以下の共著書およびいくつかの学会で発表することができた。

d 主要業績

(1) 著書

編著、斎藤純男、田口喜久、西村義樹 (編者)、『明解言語学辞典』、三省堂、2015.8

(2) 論文

西村義樹、「心・言語・文法—認知言語学の視点」、唐沢かおり、林徹 (編)『人文知 1 心と言葉の迷宮』、pp.51-69、2014.7

(3) 解説

「カテゴリー化」、『明解言語学辞典』(三省堂)、pp.34-35、2015.8

「句」、『明解言語学辞典』(三省堂)、p.50、2015.8

「語彙項目」、『明解言語学辞典』(三省堂)、pp.79-80、2015.8

「合成性」、『明解言語学辞典』(三省堂)、p.84、2015.8

「参照点」、『明解言語学辞典』(三省堂)、p.100、2015.8

「スキーマ」、『明解言語学辞典』(三省堂)、p.125、2015.8

「認知言語学」、『明解言語学辞典』(三省堂)、pp.176-177、2015.8

「百科事典的意味論」、『明解言語学辞典』(三省堂)、p.189、2015.8

「文法」、『明解言語学辞典』(三省堂)、p.198-199、2015.8

「メタファー」、『明解言語学辞典』(三省堂)、p.219、2015.8

「メトニミー」、『明解言語学辞典』(三省堂)、pp.219-220、2015.8

「用法基盤モデル」、『明解言語学辞典』(三省堂)、pp.228-229、2015.8

「プロファイル」、『明解言語学辞典』(三省堂)、p.194、2015.8

「使役構文」、『明解言語学辞典』(三省堂)、p.102、2015.8

(4) 学会発表

国内、西村義樹、「文法と意味」、東京言語研究所春期講座、2014.4.26

国内、西村義樹、「認知文法の言語観と方法論」、関西言語学会第39回大会シンポジウム「言語理論と科学哲学」、大阪大学、2014.6.14

国内、西村義樹、「認知言語学と日本語研究」、日本語学会2014年度秋季大会シンポジウム「一般言語理論と日本語研究」、2014.10.18

国内、西村義樹、「意味を構築する仕組みとしての文法再考」、文法学研究会2014年度連続公開講義「文法と意味」、東京大学本郷キャンパス、2014.12.6

国内、西村義樹、「文法と意味: 認知言語学の視点」、認知言語学フォーラム2015、北海道大学、2015.7.4

国内、西村義樹、「語彙、文法、好まれる言い回し—認知文法の視点」、東京外国語大学国際日本研究センター対照日本語部門主催『外国語と日本語との対照言語学的研究』第17回研究会、東京外国語大学、2015.12.5

国内、西村義樹、「多義の実在性はどこまで擁護可能か? : 認知言語学の多義研究が進むべき道」、早稲田大学言語学シンポジウム2015、早稲田大学、2015.12.12

(5) 啓蒙

西村義樹、「語彙と文法だけで言語は語れない(巻頭言)」、『Harvard Business Review』、第36巻第7号(通巻310号)、p.3、2014.7

(6) 総説・総合報告

西村義樹、藤田耕司、森雄一、「(展望2) 理論的研究(特別記事: 日本語文法学会の展望)」、『日本語文法』(日本語文法学会)、Vol. 16, No. 1、pp. 137-145、2016

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、関西大学(集中講義)、「認知言語学」、2014~2015